

こんにちは

豊前市議会



12月定例会(11/28～12/14)主な内容

目次
CONTENTS

議案の概要	2P
平成30年12月定例会 議案審議結果	3P
一般質問	4～10P
議会報告会	11P
その他	12～13P
トピックス・編集後記	14P

No.103
平成31年2月

議会へのご意見をお寄せ下さい

発行/豊前市議会 豊前市大字吉木955 TEL82-1111 内線1311
ホームページ/<http://www.city.buzen.lg.jp>

議案の概要

平成30年第4回定例会は、11月28日から12月14日までの17日間の会期で開催されました。

本定例会には、市長より議案18件が提出されました。所管の常任委員会で慎重に審査した結果、すべて原案どおり可決されました。

議案第78号については、豊前市し尿等前処理施設整備工事を施工するため、公募型プロポーザル方式により優先交渉者を選定し、その者と工事請負契約を締結することについての議案でした。慎重に審査した結果、原案どおり可決されました。



文教厚生委員会申し入れ事項

◎指定管理者の指定について

指定管理者の指定については、期間を新たにうたうということなので、規則・内規に沿って、個別案件ごとで説明が違わないように。

また、説明資料は詳細なものを作成し、分かりやすく説明するように。

以上、申し入れました。

産業建設委員会申し入れ事項

◎指定管理者の指定について

指定期間等を規則に新たにうたい、それに沿って実施し、個別の案件ごとで説明が違わないように。

◎調停の申立てについて

調停を申立てる前に、行政努力を最大限するように。

以上、申し入れました。

総務委員会申し入れ事項

◎議案第65号について

偽サイトに充分気を付け、また、広報もするように。

◎議案第78号について

1. 既存施設購入費、土地の購入費については、当時の購入費、補助金の投入額等を除き、精査するように。
2. 受益者負担金等を見直しするよう。
3. 吉富町・上毛町と共同運営できるよう努力し、し尿等前処理施設の建設に対して交付税措置が受けられるよう。
4. 受水槽の防食塗装も並行して工事を行い、作業効率を上げるよう。

以上、努力し、少しでも豊前市の負担が少なくなるように。

また、地元6区と漁協に対して、これからもよく話し合いをし、うまくいくように努力するよう。

以上、申し入れました。

平成30年12月定例会 議案審議結果

「○」……………賛成 「●」……………反対
 「議長」………議長職のため表決に参加しない

議案番号	議案等の名称	審議結果	為藤直美	内丸伸一	秋成英人	郡司掛八千代	黒江哲文	平田精一	福井昌文	鎌田晃二	岡本清靖	古川哲也	尾澤満治	爪丸裕和	磯永優二	賛成	反対
議案第61号	豊前市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	11	0
議案第62号	豊前市職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	11	0
議案第63号	平成30年度豊前市一般会計補正予算(第3号)	原案可決	○	○	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	11	0
議案第64号	平成30年度豊前市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	11	0
議案第65号	豊前市ふるさとづくり寄附条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第66号	豊前市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第67号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第68号	豊前市職員等の旅費に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第69号	豊前市在宅介護手当支給条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第70号	指定管理者の指定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第71号	指定管理者の指定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第72号	指定管理者の指定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第73号	指定管理者の指定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第74号	指定管理者の指定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第75号	指定管理者の指定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第76号	平成30年度豊前市一般会計補正予算(第4号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第77号	平成30年度豊前市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第78号	工事請負契約の締結について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0

一般質問

そこが聞きたい・なんとかしたい

『平成豊明会』の一般質問



平田 精一



黒江 哲文



内丸 伸一

【質問項目】

(平田精一議員)

- ① 市民に対しての行政改革
- ② 部長制度
- ③ 6次化産業

(内丸伸一議員)

- ④ 交通・買い物弱者対策
- ⑤ 環境関連施設
- ⑥ 災害対策

(黒江哲文議員)

- ⑦ 豊前市の方向性(財源と対策・広域連携・資源の活用)

※ ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。詳細については、市のホームページに全文を掲載していますので、そちらをご覧ください。
また、議会事務局及び総務課に会議録を置いておきますので、お気軽にご覧ください。

しっかりした

組織づくりを

平田議員 豊前市では、人口減少や流出により区の運営が厳しくなっている中、区の再編については、たいへんな作業になるがやってみなければわからないと思う。そこで、市のスタンス、体制としてはどういう支援を考えているか。

う広域での組織ができ、地域計画、それぞれの地域で計画をつくってもらって、それに対して支援していける体制をいま検討しているところである。

総務部長 副区長制度に対する環境整備、また一方で、地域づくり協議会という新たな、広域でのコミュニティ制度を全市で推進している。その両方の支援体制、地元とそういう体制を整えていきたい。

平田議員 この地域づくり協議会、いま現在、何地区で立ち上がっているのかまた、どういう問題点があるのかお聞きしたい。

平田議員 各区への加入率は72.1%で、入っていないのが3割近くいるが、加入率の向上を図るためにどういう施策を考えているか。

教育部長 市内11の公民館には、公民館運営審議会という組織があるが、その組織を基礎として地域づくり協議会への移行をお願いしている。その結果、本年度4地区で設置を予定しており、そのうち3地区については、実際に立ち上がり計画づくり、それに向けた取組をしていただいている。

総務部長 将来的には地域づくり協議会、そういう

平田議員 今後、財政的にも職員を増やすということとは非常に厳しい中、地域づくり協議会の中で自立してもらえれば、市の負担も減ってくると思う。また、自治会の中で市民が問題意識を共有できると思う。今後はそういう方針でやっていくつもりか。

近々設置に至ると聞いて

教育部長 ようやくスタートしたばかりで、まずはできることからしていただき、息の長い取組になろうと考えている。

災害対策を 万全に

内丸議員 豊前市においても大雨による浸水や道路の冠水など被害が発生しており、そのような災害を踏まえて対策について質問する。

鈴子川が7月の豪雨で氾濫し、国道や前川地区など広範囲で冠水し、地域住民は大変不安、恐怖を感じている。この件に関しては、磯永議長や渡邊前議員さんたちのお力添えで、国交省や県の担当の方々に来庁していただき、市もしっかりと説明していただいたが、その後の進捗状況の説明をお願いする。

産業建設部長 国交省には国道の冠水対策及び道

路排水を鈴子川に集中しないよう要望書を提出し、現地で被害状況、市でまとめた対策案の説明をしたところ、国も本道路が緊急輸送道路であり、過去に冠水した経緯があることから、既に冠水対策の調査業務を発注しているとのことであった。その後、連絡があり、今回示した豊前市の案は河川サイドの話なので九州地方整備局河川部に内容をたずねており、協議するように、との助言をいただいた。早急に協議に入りたいと考えている。

内丸議員 豊前市単独では財政的に厳しいと思うので、ぜひとも、国や県と力を合わせて、地域住民の生命、財産を守るため早期対応をお願いする。

次に、災害時の避難場所について伺います。公民館には完備されていると思うが、現在、避難所に指定されている体育館で、エアコンが完備されているところはあるか。

学校教育課長 小学校の体育館が指定されているところが多いようだが、1つもない。



鈴子川のオーバーフローの様子

内丸議員 体育館のエアコン設置について、国県からの補助金等はどのようにしているか。

学校教育課長 臨時特別給付金ということで、空調設備及びブロック塀については採択要望に応募したところだが、まず、普通教室ということ、それが大前提だと聞いている。体育館に関しては、補助のメニューが幾分異なるので、校舎とはまた別の形になるため、対象にはなっていない。

内丸議員 災害時の避難場所として非常に役に立ち、必要な事項だと思うので、トイレの洋式化と併せて、国県からの補助金制度ができれば、すぐにでも対応をお願いしたい。

県境も含めた 広域連携模索を

黒江議員 豊前市の方向性として財源を大きく揺るがすと懸念している、水道事業会計の運営について質問する。今の現状では何か手を打たないと、長期的に見れば収入減は避けられないと思う。今後重要となってくる方策として、広域連携だと思うが、この広域連携に関する対応はどのようになっているか。

上下水道課長 現在、県指導のもと、北九州市が連携中枢都市圏北九州市都市圏域の中核都市として、広域連携の可能性について考えることを目的とした、セミナーや勉強会を4回開催している。また、京築地区水道企業団の幹事会でも協議をした。広域連携が進んでいる自治体もあるので、参考にしながら今後検討していくこととしている。

黒江議員 広域連携において、より事業規模を拡大することでスケールメリットがあると言われるが、そこで県境を越えて中津市との連携も視野に入れることも必要ではないかと思うが、その辺の必要性についてはどう考えるか。

上下水道課長 一つの枠組みにこだわらず、幅広くやっていくことが大事。ただ、県境を越えて事業の連携が法制度上可能かどうかについては、今後、県や北九州市等とも協議を行いながら慎重に進めていきたいと思う。

黒江議員 今の状態、組織構成で黒字化ができるのか、行橋市や苅田町が北九州市と連携して豊築が置いていかれるという心配はないのか。そのために中津市との連携、その辺が可能なのか、調

査等しながら進める必要性があるのではないかと、思うが、市長の考え方は？

市長 この水道企業団の枠組みはしっかり守りながら、なお連携をもっと模索していくべきという話を、行橋市、苅田町の幹部の方々としている。横へのことだけでなく、垂直統合というか、そういうことも含めて立体的な枠の再編。県境についても、県境を越えた市町村と仲良くやっており話す機会があるので、連携についても模索していければと思っています。

黒江議員 国が広域の取組を進めている中で、北九州市と連携、さらに広域的にすることでどうかの考えは、京築企業団の代表としての責任でもあると思う。ぜひともその辺、遅れをとらないようにしっかりとやっていただきたい。



一般質問

そこが聞きたい・なんとかしたい

『平成豊友会』の一般質問



磯永 優二



福井 昌文



秋成 英人



鎌田 晃二

【質問項目】

(秋成英人議員)

- ① 防犯対策
- ② 企業誘致の取り組み
- ③ 東九州自動車道の活用
- (鎌田晃二議員)
- ④ 森林・林業施策
- ⑤ 市民サービス
- ⑥ 武道の衰退

※ ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。詳細については、市のホームページに全文を掲載していますので、そちらをご覧ください。

また、議会事務局及び総務課に会議録を置いておりますので、お気軽にご閲覧ください。

防犯体制の充実を図り 安全・安心なまちに

秋成議員 前回は質問した但図書館での痴漢発生後の防犯対策、防犯カメラ設置についての進捗状況をお尋ねする。

教育部長 図書館と協議を行い、まずは死角となる部分を無くす検討をし、ミラーの設置をした。また、職員が館内を定期的に巡回、書架整理等の移動時に来館者の様子に注意を払うなど、防犯対策の強化を図ってきた。防犯カメラについては、検討したが、図書館の自由宣言というものがあ

り、図書館利用者の権利を守るという伝統的な考えがある。よって、なるべく防犯カメラ等を設置せずに館内の巡視等で今後の防犯対策が取ればと考えている。

秋成議員 調査したところ全国には図書館に防犯カメラを設置している自治体があるようだ。9月議会では、市長が防犯カメラ

設置に前向きな答弁をしたが如何か。

市長 図書館の自由に関する宣言があることを承知してなく、すぐ防犯カメラを設置できるものと思いついていた。しかし、本市は事件が発生しており、もう少し情報を集め、その上で判断させていきたい。

秋成議員 小中学校は、不特定多数の方が出入りする場所であり、防犯カメラの設置は抑止力につながると考える。そこで、現状及び計画についてお尋ねする。

教育部長 平成28年度に宇島小学校、今年度八屋小学校に設置をした。他の小中学校についても補助事業の申請をしたが、採択されなかった。安全を確保することは非常に大切であり、今後計画的に設置が出来るよう検討している。

秋成議員 豊前松江、三毛

門駅は夜間無人、宇島駅も駅員さんの常駐時間は今年度に入り大幅に短くなっている。駅周辺、特に早朝・深夜の防犯の決め手としてカメラの増設を検討してみても如何か、市長にお尋ねする。

市長 犯罪に対する抑止力、利用者の安心感、防犯カメラの存在というのは大きなものがある。増設については、このままで十分なのか、検証した上で検討したい。

秋成議員 以前も質問したが、防犯対策のためにも三毛門交番の再設置を県に再要望すべきだと思いが、如何か。

市長 県警に要望ということを前向きに考えなければいけない。また、地域住民も参加し、協働のまちづくりとして一緒に考えていかねばと思つう。

秋成議員 全ての犯罪を未然に防ぐのは難しいかもしれないが、市民の安全安心を今後も自治体として追及していったきたい。

近隣自治体と 連携し、適切な 森林管理を

鎌田議員 林業の成長産業化の実現と森林資源の適正な管理、この両立を図る新たな制度として、平成30年5月25日、森林経営管理法が可決、成立した。また、新たな森林管理システムが平成31年4月1日に施行され、スタートする。この法律の狙い・目的は、大雨が降った時に風倒木等で大きな被害が出ることを防ぐために、管理が行き届いていない民有林を官指導できちんとした管理が行えるようにすることであり、災害の防止や生活環境の保全、形成が大きな狙いだと思う。そこで、豊前市の国有林・公有林・私

有林の割合をお尋ねする。産業建設部長 森林面積は約6830haで、その内、国有林が約1000haで約15%、公有林が約940haで約14%、私有林が約4890haで約71%である。鎌田議員 森林の現状をお尋ねする。私有林の中で所有者の不明、地元にない方、植林して5・60年を迎えた伐採適齢期の人工林、間伐等が出来ずに荒れ果てている森林の面積をお伺いしたい。産業建設部長 県が作成している紙ベースの森林簿しかないので把握できていない。今後、森林管理制度に対応するため、今年度、森林台帳・森林簿等のデジタル化事業に取り組んでいる。電算化事業等が完了すれば、所有者、森林施業等の把握が容易になると考える。鎌田議員 法にのっとって経営管理権集積計画を作成すると思うが、森林所有者が管理出来ない森林について、市が経営管理権を設定し、また経営管理実施権を取得した業

者に委託するという流れでいいのお尋ねする。産業建設部長 全ての管理が出来ていない森林について、森林管理集積権の設定というのは出来ない。長期的に森林所有者の意向調査等を行いながら、進めていく計画になっている。鎌田議員 計画を進める上で、アドバイザー等を派遣してもらっても一つの自治体では難しいのでは。近隣の町との連携、県の協力が必要では？産業建設部長 困難な場合は、県に代替を委託出来るようになってきている。また、築上町・上毛町と豊築森林組合運営協議会を設置しているの、その中でやるのも一手であると思う。今後、どの方策が最善であるか検討していきたい。鎌田議員 市が管理する森林が大半になり、負担が増えるのではと危惧している。近隣自治体と十分に連携を取りながら、進めて頂きたい。

平成豊友会・平成豊明会の会派視察研修



えびな市活動センターの屋上にて太陽光パネルの視察

平成30年12月18日～20日の日程で、「観光振興」について、箱根町総合観光案内所や道の駅箱根峠等で視察研修を行い説明を受けました。

また、えびな市民活動センター（青少年会館・中央公民館・市民活動サポートセンターの機能を統合した施設）で概要説明を受け、意見交換を行いました。

共働のまちづくりについての知識を学ぶことができ、有意義な研修ができました。

一般質問

そこが聞きたい・なんとかしたい

『無党派議員』の一般質問

【質問項目】

(爪丸裕和議員)

- ① 教育問題
- ② 環境問題
- ③ 財政問題

【質問項目】

(古川哲也議員)

- ① 豊前市教育委員会と
県教育委員会の関係
- ② 豊前市の自治組織の
今後

【質問項目】

(郡司掛八千代議員)

- ① 食と健康の連鎖と関連、
対策方法

【質問項目】

(為藤直美議員)

- ① 情報発信力
- ② エコ・クリーンな
環境づくり
- ③ 健康寿命をのばす取り組み

※ ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。

詳細については、市のホームページに全文を掲載していますので、そちらをご覧ください。
また、議会事務局及び総務課に会議録を置いてありますので、お気軽にご閲覧ください。

通学区域の考え方



爪丸 裕和

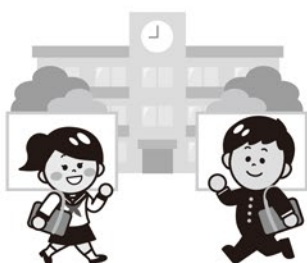
り、調査項目の一つに吉富中学校への進学について質問しており、地元区長は、市内の中学校へ行くべき36%、現状のまま16%であった。

爪丸議員 最初に通学区域の指定について、以前に一般質問で、三毛門から吉富中学校へ通学をしている生徒及び保護者から意見を賜り、教育長に、質問を行った。やはり安全面や距離的からも、八屋中学校・千束中学校に通学したいと要望が出ている。現在、通学している生徒、その保護者のニーズに配慮することが重要だと思う。その後、教育委員会の中で、通学区域の指定に関して、見直し等が検討されているのか伺いたい。

教育部長 平成27年の答申時には、平成26年11月に、吉富中学校への通学について、市内の区長にアンケートを実施したことがあ

域の見直しにつなげていただきたい。
次に道徳教育について、今年度から小学校は特別教科で取り入れられ、来年度から中学校の教科になる。その中で、伝統文化を尊重する郷土愛というのが教科書に、どのように書かれているのか伺いたい。

教育部長 小学校では、国や郷土の文化に愛着を持つということ、中学校では、郷土の伝統と文化、国の伝統と文化の創造に貢献し、日本人として自覚し、国を愛し、国や社会を形成する一員として努めること等、年齢や発達段階に応じて、内容を教えるよう定められている。
爪丸議員 今後、郷土愛について、その辺りを踏まえ、しっかりと教育につなげていただきたい。



県の教育長と意見交流



古川 哲也

古川議員 豊前市の教育委員会と県の教育委員会で、定期的に話し合いや協議をしているのか。

教育部長 正式には、話し合いの場というのは設けられてはいませんが、昨年度より県の教育委員会から、県内の教育事務所管内ごとに県の教育長、関係する部長が教育事務所に来所し、関係する管内の教育長との意見交換会を実施している。

古川議員 市の教育長と県の教育委員会が懇談をしているのか。

教育部長 県内の6事務所に県の教育長が直接出向いて、その管内の市町教育長と意見を交わす、話し合いの場がある。

古川議員 例えば地元の教育長の意見が、次年度の事業等に反映されるような場になっているのか。

教育長 青豊高校の県外からの、進学校設置に対する大分県への進学もできないかという要望や学校がICT整備に併せて、統合型の校務支援システムと言つて、これから導入しなければならぬシステム導入にかかる予算確保を県に推進してほしい、といった意見は、その場で伝えている。

古川議員 来年の青豊高校、京都高校の定数が削減されたことについて、どのような対応を行なったのか伺いたい。

教育部長 県教育委員会のほうで確認をしたが、県の県立高等学校学校則等の規定によるものである。

教育長 付け加えて説明をするが、今回の県立高校の来年度入学校卒の改定で、青豊高校と京都高校が1

学級減で、80名も減ったと。青豊高校の校長の見解では、県立の定数というのは、5年先・10年先のいまを読める生徒数実態調査があり、何年の受験者は、学区で何人いるか推計できる。それに基づいて、毎年決まった時期に行われる。今までどおりの定数の変動があった。これがルールみたいな認識である。

古川議員 県教育委員会と話す機会があれば、全てものを話していただき、また我々の地方の意見も県の教育委員に分かっていただき、聞いていただきたい。

教育部長 青豊高校の大分県からの1割定数受入れに代わるものとして、豊前市の子どもたちが大分県に進学するチャンスがないのかも含めて、ご指摘等も、先ほどの話し合いの折にしっかり伝えていきたいと思っている。



食と健康の連鎖と関連、対策



郡司掛 八千代

郡司掛議員 豊前市食育推進計画には園児自らが農作物の栽培から収穫までを体験することにより、食に関する感謝の心を育てる授業を実施するとあるが、どのようなものか。

市民福祉部長 千束保育園では、地域の方に指導、ご協力をいただきながらサツマイモやきゅうりなどの植え付け、収穫を行なっている。土に直に触れる感触を楽しみながら、少しずつ成長していく野菜の様子に喜びを感じているようだ。

郡司掛議員 地域の方と触れ合うこと、幼児期より食に関心を持つことは大変良いことだと思つので、今後も続けてほしい。では、学校等で取り組ん

でいるところはあるか。

教育部長 多くの学校で、野菜を育て栽培している。三毛門小学校では、保存会の方々の協力を得て、地元の特産品である三毛門かぼちゃを生産している。また、校区の農家の方々の協力を得て、合岩小学校では、特産品のゆずを収穫・調理・加工といった体験をし、合岩中学校では梅の実ちぎりや梅干づくり等を体験し、ゆず祭りや販売したり、取組を発表したりしている。

郡司掛議員 体験農業を通じて、季節を感じ育てることの喜びなど教科ではない味わえない感動が伝わると思うので、今後も取組を推進してほしい。

また、学校給食で使う野菜は、どのように地産地消をすすめているか。

教育部長 学校給食の献立に野菜や果物など地産の食材を取り入れた地場産物の日を設けている。

郡司掛議員 生まれ育った土地、暮らしている土地の身近にある食べ物は、私たちの体や健康と切り離せない。地産地消の取組は、地元の食文化を継承、発展させるだけでなく、コストやエネルギーの無駄がなく、安心安全である。地元の産業を活性化させ、食糧自給率の向上につながると思うので、安心安全を強くPRすることで、市民の意識も変わると思う。

また、学校における食育は、栄養教諭を中心に連携、協力し指導を展開することが重要。栄養教諭の異なる配置の促進を図ることが必要だが、公立小中学校の栄養教諭・栄養職員の豊前市の配置数は、何名か？

教育部長 豊前市では、八屋小学校、三毛門小学校、八屋中学校に1名ずつ配置されている。

郡司掛議員 児童が減少傾向にある今、栄養教諭の促進を図ることは、難しいと思うが、これからの課題になると思うので、対応をお願いしたい。

情報発信力について



為藤 直美

為藤議員 市民への情報発信について伺いたい。

総務部長 主に、市報、ホームページ、フェイスブック、テレビ、ラジオを活用している。

為藤議員 市や地域の行事等市民への情報伝達が行き届くようにすることが大切。そして自分達が住む豊前のこと、豊前の良さを知ってもらうことが大切。豊前市のことを調べるためのツールとしてホームページ、京築まるごとなど以外に何かあるか？

総合政策課長 市内の観光施設、空港等にパンフレットの設置をしたり、広域で取り組んでいる事業の中でパンフレット等の配布を行なったりしている。また、県の移住・定住サイト

に情報を掲載し、様々なツールを利用してPRを行なっている。

為藤議員 また山内の古民家を活用した豊前市トライアルワーキングステイ事業について伺いたい。

総合政策課長 27年度2名、29年度2名の参加。神楽体験に興味を示したり、参加者の方のフェイスブックを見た方が興味を持ってくれたり一定の効果はあげられていると認識している。

為藤議員 せっかくなので古民家なので、移住という目的以外でも、市民の方に活用してもらうことで、その声をPRできると思う。また、古民家にはインターネットの環境が必要だと思うが、市内ではどれだけWi-Fiの環境が整備されているか。

産業建設部長 観光施設の中では、何箇所か設置されているが、フリーWi-Fiは道の駅1箇所。商業施設等

では、コンビニエンスストアや市内の民間宿泊所で1箇所。

教育部長 公共施設では、市立図書館にフリーWi-Fiを設置している。

為藤議員 豊前市も今後、外国人の方が多く入ってくるが見込まれる。外国人に対しては、言葉やコミュニケーションが不足しているため、Wi-Fiの通信ツールが役立つと思うが、市長の考えは？

市長 外国人の方々に対応できるように、自由に使える体制を整えることで、この地域に来て良かった、便利だと思ってもらえる。大きな武器になるという認識ではあるが、費用もかかるので、整備について議論している。

為藤議員 外国人だけではなく、若い方もWi-Fiの環境が整っていれば、集まるという現実がある。若い力もPRに欠かせないので、ぜひお願いしたい。また、豊前市を効果的にPRできるように、市民にもっと情報を伝達し、豊前市を知ってもらい、自慢できるまち、住んでみたいまちになるようお願いしたい。

無党派議員の合同視察研修



武雄地域鳥獣加工処理センターの様子

平成30年12月17日～18日の日程で、無党派議員合同視察研修を行いました。佐賀県「九州国際重粒子線がん治療センター」で、高度先進医療施設に認定されたサガハイマツト等の説明を受け、意見交換を行いました。

また、佐賀県武雄市で「武雄市図書館」や「武雄地域鳥獣加工処理センター」の現状について、説明を受けました。この視察研修で、いろいろな知識を学ぶことができました。

開かれた議会を目指して 第7回 議会報告会を 開催しました!!

日時	場所	参加者	アンケート回収率
11月12日(月)	山田公民館	78人	65%
11月13日(火)	中央公民館	57人	63%
11月14日(水)	総合福祉センター	84人	82%
11月16日(金)	横武公民館	59人	75%

この報告会は、市民の皆さんに議会の中で審議・議論したことについての報告や市政全般あるいはそれぞれの地域が抱える課題などについて、意見交換を行うなど市民の皆さんとの対話を通じて、信頼関係を築くことを目的に行うものです。

今年で7回目となる報告会では、議会側から「部制導入に伴う関係条例の整備に関する条例」・「宮城県東松島市と友好都市提携締結」・「防災無線の個別受信機」・「し尿処理施設の現状と今後」・「英語教育の充実」・「小中学校の就学準備金」・「有害鳥獣対策」・「豊前市観光協会」などについて報告し、その後、各地域からの課題や要望についての意見交換を行いました。

また、参加者からのアンケートでは、「資料に詳細な内容が記載されており、口頭での説明が分かりやすかった」・「回数を増やしてほしい」・「住民目線に立って、毅然とした態度で職務に当たってほしい」などその他たくさんのご意見をいただきました。

それぞれの会場で皆さんからいただいたご意見・ご要望については、今後の議会活動に活かしていきたいと思えます。



議会報告会の様子

他議会からの視察受入れ報告

豊前市議会では、他議会からの視察研修の申込みが多数あります。

豊前市の事例を紹介し、それぞれの自治体で活かしてもらえればと思い、できる限り視察研修の受入れを行っております。

視察研修受入れ状況

来庁の他議会	日程	視察研修内容
和歌山県和歌山市議会	H30.1.17	海業支援施設「うみてらす豊前」
宮城県東松島市議会	H30.1.24	まちづくり計画の概要、教育計画の現状 友好都市提携の経過、交流事業
福井県福井市議会	H30.2.7	道の駅「豊前おこしかけ」
埼玉県越谷市議会	H30.2.7	道の駅「豊前おこしかけ」
兵庫県赤穂市議会	H30.5.23	もみじ学舎「廃校リニューアル」
北海道江別市議会	H30.7.4	訪問口腔ケア事業
東京都北区議会	H30.8.8	観光PRビデオの概要と経過
千葉県習志野市議会	H30.10.30	在宅訪問口腔ケア事業
新潟県妙高市議会	H30.11.6	老朽危険家屋等除却促進事業
京都府宮津市議会	H30.11.7	老朽危険家屋等除却促進事業
宮城県大和町議会	H30.11.13	老朽危険家屋等除却促進事業
福井県勝山市議会	H30.11.15	老朽危険家屋等除却促進事業
愛知県安城市議会	H30.11.16	在宅訪問口腔ケア事業

九州整備局北九州国道事務所が視察に来市



鈴子川の視察の様子

国・県へ広域的な災害雨対策等を、早急に実施するよう、豊前市議会の働きかけにより、国土交通省の九州整備局北九州国道事務所が視察に来市し、災害で氾濫した市営河川鈴子川等の現地視察を行いました。能徳工業団地入口交差点に接続する県道230号中畑・八屋線についても、道路の雨水排水を県営河川中川に流すよう、併せて、雨水排水が鈴子川に集中しないよう要望を行いました。

豊前市獣肉処理加工施設オープニングセレモニー



豊前市獣肉処理加工施設

豊前市議会は、農林業等に係る被害の防止と有害鳥獣捕獲意欲向上、捕獲員の負担軽減などを目的に、国・県へ広域的な対策等を、早急に実施するよう、陳情活動を実施してきました。その結果、有害鳥獣被害の防止の一助として、豊前市獣肉処理加工施設が設置され、11月21日から本格的にスタートしました。

今後は、健全なる施設の運営を目指していただくこと、そのための事業報告や事業内容の検証をしっかりと行うよう、また、農林業生産者の有害鳥獣の被害額減少に向け取り組むこと、獣肉の流通・物販・ブランド化については、市が全面的に協力するよう、市議会より申し入れをしております。

豊前商工会議所要望活動



商工会議所の要望活動

豊前商工会議所の宮房会頭等による表敬訪問があり、磯永議長は「豊前市の小規模事業者対策並びに豊前市経済活性化に対する要望」を受けました。

要望内容

1. 小規模事業支援に関する要望
2. プレミアム付き地域商品券発行に関する要望
3. タウンマネージメント推進事業に関する要望

豊前市海外ホームステイ事業

豊前市では海外での異文化生活を通して、英語学習への意欲・コミュニケーション能力の向上を図り、国際的な視野をもった青少年を育成することを目的に、市内に住む中学生15名が平成30年10月16日(火)～22日(月)の日程で、ハワイ郡ヒロ地域での海外ホームステイ事業を実施しました。

19日の午前中に磯永議長と研修生たちは、ハワイ郡議会を表敬訪問し、キム郡長とポインデクスター議長と意見交換をしました。

長いようで短かった5泊7日のホームステイ研修は、病気やケガもなく無事に終わることができました。今回のホームステイを通して、参加した中学生たちは、異なる文化や価値観を直接肌で感じとることができ、英語学習に対する意欲向上にもつながったと確信しています。

今後も議会では、青少年育成に対して最大限後押ししていきたいと思えます。



磯永議長とハワイ郡議会のポインデクスター議長(左)、
ハワイ郡市議会のリー・ロイ議員(右)



ハワイ郡庁の議事堂にて
磯永議長と研修生

編集後記

今年は平成最後の年であります。

豊前市においても、節目の年として新たなまちづくりに取り組む姿勢が必要だと思えます。現状では、少子高齢化・人口減少に伴い財政運営への厳しさが、更に増していくと予測されており、夢物語でなく時代に合った新たな政策が重要だと考えます。そのためにも、限られた予算の中で「市民でできることは市民で」「行政のやるべきことは行政で」と役割分担で連携することが求められることと思えます。そこで、昨年から各地域では「地域づくり協議会」の設立の動きがあります。やはり、地域のことを行政主導でなく地域を知る地域住民が声をあげて要望することで、本当に良い地域が築かれると思えます。又、そのような地域の声が市政運営に反映されるよう取り組むことが我々議会の役割だと強く感じております。そして、行政は限られた予算をどこに特化し、いかに市民サービスの向上に繋げていくかが肝心です。豊前市の大きな課題は公共施設の老朽化です。その課題解決に向けて公共施設の統合や効率化など学校問題も含め、10年後20年後を見据え豊前市の身の丈に合った計画を早急に策定することが必要だと思えます。このような様々な問題点を改善できるよう議会として、しっかり政策提言していきます。

最後に、区長はじめ、各種団体、地域の皆様方へ今後の豊前市の発展に向けて更なるご協力をお願い致します。

黒江 哲文

次回の定例市議会は
3月です

議会を傍聴しましょう

市議会の様子を知る最もよい方法です。
多数の方の傍聴をお待ちしています。

- 編集 編集委員会
委員長：黒江哲文
副委員長：郡司掛八千代
委員：内丸伸一 秋成英人
古川哲也

- 印刷 築上印刷有限会社